



会

報

札幌市中央区 北1条西3丁目 STV時計台通ビル6階 TEL(011)-251-6937 / FAX(011)210-0929 <http://www.hokkaido-pta.jp>

PTAの扉を開けて

北海道 PTA 連合会 副会長 街道 美恵



「PTA役員やってみない!？」長女の入学時に、子育ての先輩から言われた一言。「えっ私ですか？」とんでもない。勉強嫌いだった私がPTAなんて。どう断ろうかと悩んでいた時、「やってみたら?」と家族に背中を押され、踏み出した一歩が始まりでした。

実際にやってみると色々な活動がありました。はじめは何をしていいのかわからず、とても不安でしたが、運動会やバザーのお手伝いなど一つ一つ教えていただきました。そしていつの間にか、子どもたちに負けにくいくらい夢中になって取り組み、楽しんでいる自分がいたのです。職場の協力もあって、行事のたびに子どもたちのほじける笑顔を見る事ができ、仲間と共にとっても幸せで充実した日々でした。

それからは、様々な講演会や研究大会にも誘って頂きました。できれば避けたいと最初は思っていたのですが、実際に参加してみて衝撃と感銘を受け、驚くほど価値観が変わりました。PTAは、子育ての悩みを共有し、親になっても楽しく学べる場所であり、親が楽しいと子どもも楽しい、親が笑っていると子どもも笑う、そんな親と子のコミュニケーションを育むかけがえのない活動なのだ強く感じました。数々の素晴らしい出会いにも恵まれ、その出会いが繋がり広がって、今では光り輝く大きな輪となっています。

今はコロナ禍の為、学校現場やPTAは活動を制限され、ままならない状況が続いています。誰もが家に閉じこもりがちとなり、親子共々SNSなどの時間が増え、面と向かって話す機会も少なくなっているのではないのでしょうか。今はWithコロナ時代と言われ、新たな活動スタイルを模索していかなければならないでしょう。そんな時だからこそ、保護者・学校・地域が連携、協力するPTA活動はとても重要な役割を担っていると思うのです。ぜひ、みなさんも扉を開けてみませんか?

この不自由な生活が終息を迎え、「あの時は大変だったよね」「そんなこともあったね」と、子どもたちがキラキラの笑顔で学校生活を送れる日が来ることを心から願っています。11年間のPTA活動は、私にとって大切な宝物です。特に、子育て委員長としての3年間は貴重な時間を過ごすことができ、感謝の気持ちでいっぱいです。今まで大変お世話になり、本当にありがとうございました。これからもPTA活動を応援し続けて行きたいと思います。

1 今年度の取組

研究テーマ「ともに学び、行動し、連携するPTA活動や組織の在り方」を踏まえ、次の4点を中心に各地区の現状交流や意見交換・協議を重ねた。

- (1) 持続可能な子育て支援体制におけるPTA組織の在り方や活動の活性化へ向けた取組・改善策
- (2) コロナ禍におけるPTA活動の推進
- (3) 今年度の道ブロ南空知・岩見沢大会提言校との連携・協力
- (4) 令和5年度の提言を視野に入れた研究の方向性検討



2 成果

- (1) 時代の変化や各地区・各単Pの実情を踏まえ、持続可能なPTA組織の体制づくりや運営等に関し、様々な工夫・改善を図る動きが始まっている。
- (2) コロナ禍にあっても、オンラインを積極的に活用するなど、内容・方法を工夫して活動する取組が進んでいる。
- (3) 道ブロ南空知・岩見沢大会は中止となったが、北海道ブロック協議会主催「北海道の特色ある実践事例発表」で、旭川市立緑新小学校PTAなどがオンライン発表を行った。

3 課題

- (1) 社会情勢や各地区・各単Pの実情に即したPTA活動の継続・改革・創造を目指す。

4 次年度の方向性

- (1) 今年度の成果と課題を踏まえ、ウイズコロナでの挑戦・体験・学びを止めないPTA活動の推進、そしてポストコロナでの進化したPTAの姿についてさらに究明していく。
- (2) 現研究テーマ・視点・具体的な取組について継続研究とし深化を図る。
- (3) 令和5年度札幌大会での提言について協議を継続し、提言校の選出・発表依頼をする。

1 今年度の取組

- (1) 日P北海道ブロック研究大会岩見沢大会の提言発表について（大会中止）
- (2) 日P北海道ブロック研究大会北見大会における提言発表にむけて
- (3) 各地区PTAの実践交流について

2 成果

- (1) キーワードとなっている「親の学び」について、引き続き意見交換を行い、各地区PTAの取組の交流を重ねてきた。また、「コロナ禍においても行うことができるPTA活動」を交流することができたのが成果である。
- (2) 令和4年度の提言は「研究内容2 大人の環境整備活動」を研究の対象にすることを確認した。具体的には、コロナ禍においてもできる「大人の学び」についての活動の交流を通じて、各地区で模索している活動実践を提言として発表できるように選定を進めた。
- (3) 実施可能な工夫の仕方として、別途YouTube配信などを併用し、多くの方に参加してもらい開催してきた。「活動を止めないPTA」の在り方を検討していく上でも、有効な開催方法であった。オンラインでの配信では、当日だけでなく期間を設けることで、都合のいい日、時間帯で参加できた。



3 課題

(1) 今年度も、感染状況を考えながら委員が全員集まらない状況で、次年度の提言発表を決めることが難しかった。オンラインでの講演会が今後も増える可能性を考え、PTAでそれが行えるシステムを作っていく必要がある。また、講演会だけではなく、会議等へのオンライン活用についても検討していく必要がある。今後も見通しをもって活動を進めていくことが大切である。

4 次年度の方向性

(1) 令和4年度日P北海道ブロック研究大会北見大会の提言発表を行う。研究内容は、「2 大人の環境整備活動」であり、今年度の実践内容の提言となる。実施可能なPTA活動のアイデアを全道に紹介し、活動の参考としてもらいたい。大会での発表に向けて準備を進めることが必要である。

【子育て委員会】

1 今年度の取組

(1) 今年度の研究テーマ「豊かな心をもった子どもを育てる親のあり方」

(2) 研究の内容

- ①子育て委員会の活性化と組織の充実のあり方 ②「生きる力」を育てる家庭教育のあり方
③子育て委員会の話題提供源としての広報活動 ④令和7年度提言に向けた取組の準備

2 成果

(1) 各地区の活動や研修会について、コロナ禍においても時期、研修会の形態、活動の工夫を行い、地区の実態に合った活動を行った。会場への集合参加型以外に、ZoomやYouTubeの活用など会場または個人によるリモート会議の導入を試みた地区が複数あった。コロナ禍により、家庭での時間や家庭教育を見つめ直す機会となった。

(2) 道Pのホームページ投稿について体験研修会を行い、各地区との交流として広報活動を推進した。

(3) 令和7年度提言に向けて、見通しをもった取組に向けた話題例を話し合った。

3 課題

(1) 地区により、組織体制存続や引継ぎ業務に支障が出ている。コロナ禍でできなかった活動を含め、PTA活動未経験部分への対応や保護者の参画を促進する必要がある。オンラインの運営について、機材の準備や操作技術が誰にでもできる形ではないため、担当者の負担が大きい。

(2) ホームページについて周知を行い、閲覧数、投稿数を増やすことや会員が活用できる取組・改善を促進する。

(3) 令和7年度の提言に向けた準備に向け、組織体制、提言内容について少しずつでも手掛けていく。

4 次年度の方向性

子育ての悩みは親にとって永遠の課題であり、家庭・学校・地域全体が意見交流や連携の場の設定が必要である。「活動を止めないPTA」を目指し、組織体制充実、実態に合わせた研修会等の実施、ホームページによる情報共有を行うとともに、令和7年度の提言に向けた準備を進めていく。



ブロック連絡会

1. ブロック連絡会の開催日程及び内容

(1) 第1回ブロック連絡会 <書面開催>

- ①日 時 令和3年6月12日 (土)
- ②場 所 ホテルポールスター札幌
- ③対象者 令和3年度総会出席者
- ④内 容
 - ・自己紹介
 - ・ブロック連絡会の趣旨説明
 - ・ブロック体制の確立、役員構成
 - ・今後の予定等

(2) 第2回ブロック連絡会

- ①日 時 令和3年7月3日 (土)
*委員会・地区事務局長会終了後
- ②場 所 ホテルポールスター札幌
- ③対象者 委員会・地区事務局長会出席者
- ④内 容 第1回会議の課題の確認等

(3) 第3回ブロック連絡会

- ①日 時 7月～11月の早い時期
- ②場 所 各ブロック
- ③内 容
 - ・道P連事業の説明
 - ・各地区の活動の交流、意見交換
 - ・道P連や道教委等への質問、要望
 - ・ブロック研修会

(4) 第4回ブロック連絡会の開催が必要なブロックは、第2回地区事務局長会議終了後、同会場で実施する。

【第2ブロック】

1. 日 時 令和3年11月20日 (土) 14:00～
2. 場 所 オンライン
3. 参加者 16名
4. 研修内容
 - ・講演 「怒りにふり回されない術～アンガーマネジメント～」
 - ・講師 岡澤史子 氏 (アンガーマネジメントコンサルタント)
 - ・北海道PTA連合会の各種業務について
 - ・委員会の報告

- ・各地区の活動交流
 - *オンライン形式での地区研・子育て研について
 - *紙面交流した地区研
 - *行事の日程を短くして実施した地区研
 - *家具や食育の研修に取り組んだ地区研
(上川北部PTA連合会、旭川市PTA連合会、上川南部PTA連合会、留萌管内PTA連合会、稚内市PTA連合会、宗谷管内PTA連合会)

【第3ブロック】

1. 日 時 令和3年11月7日 (土) 13:00～
2. 場 所 北斗市総合文化センター
3. 参加者 29名
4. 研修内容
 - ・北海道PTA連合会各種業務の説明
 - ・委員会の取組について報告
(組織・連携委員会、教育・環境委員会、子育て委員会)
 - ・各地区の実践交流
 - *参集形式とオンライン形式による研究大会のメリットとデメリット
 - *普遍・不易な内容を大切に活動を進める
 - *青函PTA交流会について
(函館市PTA連合会、渡島PTA連合会、檜山PTA連合会)
 - ・渡島教育局からの説明



地区別懇談会

北海道PTA連合会では平成21年度よりブロック連絡会を活用して組織強化事業を展開してきました。その中、ブロックの地区範囲が広すぎて集まりづらい、市内と地方や単Pの大きさによって課題が違うなどの意見がありました。そこで今年度全道を2グループに分け、有意義な討議がなされました。

1. 日 時 令和3年7月3日(土) 16:00～ 2. 会 場 ホテルポールスター札幌
3. 第1グループ ・石狩管内・小樽市・旭川市・函館市・渡島・南空知・胆振東部・オホーツク中部・帯広市・釧路市
第2グループ ・後志・上川北部・上川南部・稚内市・宗谷管内・留萌管内・檜山・北空知・胆振西部・日高地区
・オホーツク東部・オホーツク西部・十勝管内・釧路管内・根室地方
4. 懇談の柱 「PTAとして現状の課題と今後の在り方」
5. 懇談の流れ ・懇談の概要説明 ・自己紹介を兼ねて課題等について意見を伺う
・今後の在り方について全体で懇談を行う ・本日の懇談内容をまとめる
6. 懇談の内容 ・PTA未加入者への対応
*PTA活動の在り方を伝えることが大切さ *会費の使い方を丁寧に説明する
・PTAの在り方について
*他のPTAの話聞くことと幅が広がる *活動のやり方や中身を変えていく
*一人一役制の学校が増えてきた。保護者一人一人に活動への意識を持ってもらうことが必要 *CSや地域ボランティアとのすみ分けが今後の課題
*子どもたちを支える活動は、単Pの大小にかかわらず今後も必要である

令和3年度 子育て研修会の紹介

「コロナ禍でのネット配信による研修会」

函 館 市

昨年度の研修会はコロナの影響で中止になりましたが、今年度はネット配信による研修会をする事となりました。今回の子育て研修会は、渡島教育局との共催で「地域における家庭教育支援基盤構築事業」家庭教育研究協議会を兼ねて行いました。

令和3年10月18日、テーマを「コロナ禍の今、親と子の絆どう深める？～パパの役割・ママの役割～」として講師に中谷通恵氏(NPO法人お助けネット代表)をむかえ、子育て委員のみの参加で講演していただきました。講演後はディスカッション形式で日頃の悩み等を委員が話し中谷先生からは解決のためのヒントをいただきました。全てを通すと1時間を超えての視聴時間となり視聴側への負担となってしまうので、10～15分程で区切り5分割での配信としました。講演の様子やディスカッションは令和4年1月17日より配信しており、より多くの人に視聴してもらえよう函館市PTA連合会のホームページのYouTubeのタグから令和4年度中、誰でも視聴することができるようになりました。



コロナ禍の中で委員を行うことも難しく委員全体での話し合いが多く持てない中で少ない回数と短い時間で内容を詰めていくのはとても大変でした。このままコロナが収束しない状況が続くことを考え、委員会自体もオンラインにするなどの工夫が必要なのかもしれないと感じました。今回ネット配信という新しい形式を次年度の研修会のひとつの方法として引き継いでいきたいと思えます。

(文責 函館市子育て委員 京谷明希)

第39回全道PTA広報紙コンクール受賞PTA

- 大賞 (3単P)
北海道知事賞
北海道新聞社賞 旭川市立青雲小学校PTA
北海道教育委員会教育長賞
北海道新聞社賞 岩見沢市立緑中学校PTA
北海道PTA連合会会長賞
北海道新聞社賞 旭川市立中央中学校PTA
- 優秀賞 (15単P)
(公社)日本PTA全国協議会賞 函館市立東山小学校PTA
日本教育新聞社賞 旭川市立六合中学校PTA
同 北見市立南小学校PTA
北海道小学校長会賞 旭川市立東五条小学校PTA
同 岩見沢市立第一小学校PTA
北海道中学校長会賞 北見市立高栄中学校PTA
同 浦幌町立浦幌中学校PTA
北海道公立学校教頭会賞 旭川市立新町小学校PTA
同 白老町立萩野小学校PTA
北海道PTA連合会賞 俱知安町立西小学校樺山分校PTA
同 中富良野町立旭中小学校PTA
同 北見市立小泉小学校PTA
北海道PTA安全互助会賞 留萌市立留萌小学校PTA
同 苫小牧市立青翔中学校PTA
同 中札内村立上札内小学校PTA
- 審査員特別賞 (北海道新聞社賞) (25単P)
千歳市立北陽小学校PTA 江別市立大麻東中学校PTA
小樽市立望洋台小学校PTA 美深町立美深小学校PTA
旭川市立神居小学校PTA 旭川市立西御料地小学校PTA
東神楽町立東聖小学校PTA 愛別町立愛別小学校PTA
豊富町立兜沼小中学校PTA 留萌市立東光小学校PTA
函館市立昭和小学校PTA 北見市立南中学校PTA
北見市立おんねゆ学園PTA 帯広市立清川小学校PTA
帯広市立帯広第一中学校PTA 帯広市立稲田小学校PTA
新得町立新得小学校PTA 音更町立緑南中学校PTA
上士幌町立上士幌中学校PTA 浦幌町立上浦幌学園PTA
中札内村立中札内中学校PTA 釧路市立釧路小学校PTA
釧路市立大楽毛小学校PTA 釧路市立共栄小学校PTA
釧路市立湖畔小学校PTA (順不同)
- 奨励賞 (16単P)
恵庭市立恵庭小学校PTA 小樽市立長橋小学校PTA
旭川市立大有小学校PTA 旭川市立千代田小学校PTA
愛別町立愛別中学校PTA 北斗市立浜分小学校PTA
室蘭市立白蘭小学校PTA 登別市立幌別中学校PTA
浦河町立浦河小学校PTA 帯広市立清川中学校PTA
帯広市立明星小学校PTA 鹿追町立鹿追小学校PTA
広尾町立広尾小学校PTA 浦幌町立浦幌小学校PTA
釧路市立芦野小学校PTA 釧路町立富原小学校PTA
(順不同)

第 69 回 日本 PTA 北海道ブロック研究大会 オホーツク北見大会

- 1 開催期日 令和4年10月8日(土)～9日(日)
- 2 会場 【第1日目 分科会】 ・Youtubeによるオンライン開催
第2日目 全体会】(予定) ・Youtubeによるオンライン開催
(北見市民会館よりライブ配信)
- 3 主催 日本PTA北海道ブロック協議会(北海道PTA連合会・札幌市PTA協議会)
- 4 主管 オホーツク中部地区PTA連合会
- 5 後援(予定)公益社団法人日本PTA全国協議会 文部科学省 北海道 北見市 美幌町
津別町 訓子府町 置戸町 佐呂間町 北海道教育委員会 北見市教育委員会
美幌町教育委員会 津別町教育委員会 訓子府町教育委員会 置戸町教育委員
会 佐呂間町教育委員会 北海道小学校長会 北海道中学校長会
オホーツク管内校長会 各市町校長会 北海道公立学校教頭会 オホーツク管
内教頭会 各市町教頭会 その他
- 6 参加者 道内PTA会員ならびに教育関係者 900名程度
- 7 参加費 1,000円(協力金として)
- 8 大会スローガン 「Well-being(ウェルビーイング)」
～夢・未来を拓く子どもたちの幸せのために～
- 9 大会主題 子どもたちを「誰一人取り残さない」よりよい家庭・地域のつながりを目指して
- 10 大会日程

【第1日目 10月8日(土)】

- ・Youtubeによる配信(10月8日公開～12月末まで配信予定)

【第2日目 10月9日(日)】

- ・Youtubeによる配信(当日限定公開予定) ※地域の感染状況により、日程変更あり

9:15 9:30 9:45 10:45 12:30 12:45

受付	アトラクション	全体会	記念講演	閉会行事
----	---------	-----	------	------

- 11 記念講演 講師 森崎博之氏(Team NACS)
演題 「父親目線の子育てと食べることの大切さ」(仮)

12 分科会テーマ

領域	分科会テーマ	担当
第1分科会 組織・運営	PTAとコミュニティスクール ～地域とともにある学校づくり～	札幌市PTA協議会
第2分科会 家庭教育	コロナ禍における家庭教育の重要性 ～子どもたちの永遠の応援団として～	北海道PTA連合会
第3分科会 学校支援	コロナに負けるな!～子どもたちに楽しい学校生活を～	北海道PTA連合会
第4分科会 地域連携	家庭、学校、地域が連携し、未来を担う子どもたちを育 てるために ～笑顔で子どもたちと接するために～	北海道PTA連合会
第5分科会 情報教育	GIGAスクール時代における新たな教育の在り方 ～情報化社会の中で子どもたちを守る活動～	札幌市PTA協議会
特1分科会 中学生 討論会	自分たちが幸せになるためのまちづくりとは?	オホーツク中部地 区PTA連合会
特2分科会 地域独自の テーマ	オホーツクでの体力向上の取組について	オホーツク中部地 区PTA連合会

※特別第1、第2分科会については検討中

北海道 PTA 安全互助会制度の補償について

■こんな時、見舞金が出ます。事故が発生したら、速やかに手続きをしましょう。

<園児・児童・生徒(学校管理下外)傷害補償>学校の管理下外でのケガおよび死亡の見舞金

- ・登下校中やご自宅でのケガ
- ・スポーツ（少年団活動を含む）でのケガ
- ・自転車・ドライブでのケガ
- ・授業のない日の部活動中のケガ

<PTA(活動中)傷害補償>PTA 主催行事において起きたケガおよび死亡の見舞金

- ・スポーツ行事や学年・学級レクでのケガ
- ・研修活動でのケガ

※園児・児童・生徒の場合は学校管理下外に限り

<賠償責任補償(PTA)>PTA 活動中の賠償責任を補償します

- ・PTA 主催のお祭りで、PTA 役員の誘導ミスにより来場者がケガをした

<賠償責任補償(PTA+子ども 24 時間)>園児・児童・生徒の賠償責任を 24 時間補償します

- ・児童が自転車で歩行者に衝突し、歩行者がケガをした

■未加入校はぜひご加入をお願いします。通年を通して、ご加入いただけます。

子どもたちの学校を離れての活動や PTA 行事に安心して参加できるように、補償内容等をご理解のうえ、ぜひご加入いただくようお願いいたします。

<会費> **令和4年5月始期分から会費が下記の通りとなります。**

【園児・児童・生徒(学校管理下外)傷害補償】	被保険者 1 人につき	400 円(1 年間)
【PTA(活動中)傷害補償】	1 世帯につき	195 円(1 年間) (変更)
【賠償責任補償(PTA)】	被保険者 1 人につき	18 円(1 年間) (変更)
【賠償責任補償(PTA+子ども 24 時間)】	被保険者 1 人につき	400 円(1 年間)

新たに加入を希望する PTA は、PTA 安全互助会までご連絡ください (☎011-221-7680)

北海道 PTA 連合会
令和4年度

小・中学生総合補償制度 (団体総合生活保険)

子どもたちの笑顔あふれる活発な日常をお守りする「もしも」の際の「備え」です！

- ◆各学校でご加入いただく北海道 PTA 安全互助会制度の上乗せ補償として、
各ご家庭で任意加入いただける制度をご用意しています。
- ◆本制度は年1度の募集です。保険期間は、加入申込時期により、
4月1日/5月1日/6月1日各午後4時～翌年4月1日午後4時までです。
- ◆学校内外を問わず、様々な危険から24時間、お子さまをお守りします。
新型コロナウイルス感染症も補償対象です。

最終申込締切日 (消印有効) 5月25日 (水)

詳細な補償内容や申込手続き方法は、4月に学校で配布されるパンフレットをご確認ください。

【引受保険会社】



東京海上日動火災保険株式会社

【お問い合わせ先】札幌中央支店金融公務チーム ☎011-271-7285

札幌市中央区大通西 3-7 北洋大通センター17階
21-TC08880 令和4年1月作成

